

第 20 回鶴川駅南口街づくり検討会 会議要旨

日 時：2014 年 10 月 18 日（土）午前 10 時～正午

場 所：和光大学ポプリホール鶴川 3 階会議室

出席者：22 名（地権者：19 名／その他：3 名）

町田市：望月課長、吉原担当課長、加藤係長、森本主事、船岡主事

コンサルタント：パシフィックコンサルタンツ株式会社：桑山氏、村井氏、近藤氏

【次第】

1. 土地建物利用イメージの整理
2. 道路検討プラン（案）のとりまとめ
3. 次回の検討会について他

【決定事項】

- 道路整備の基本的な考え方をまとめました。（P17～P18）
- ・ 駅アクセス道路：南口駅前広場への路線バス導入に向け、真光寺長津田線からのアクセス道路整備を検討します。
- ・ 主要生活道路 1：主に東側エリアにおける交通需要への対応並びに駅の東西を連絡する道路として、駅前から 1 号踏切まで歩道がある道路の設置を検討します。
- ・ 主要生活道路 2：西側エリアの生活利便の向上や防災性の観点から、生活の軸となる道路を検討します。

【議事】

1. 資料説明

（1）土地建物利用イメージの整理

- 鶴川駅周辺の役割、土地利用の考え方について説明しました。（P2～P3）
- 土地利用を支えていくためには道路の幅員が変化することを、宅地開発などの事例を用いて説明しました。（P4～P5）

（2）道路検討プラン（案）のとりまとめ

- これまでの検討会での議論を通じ修正した道路プランの提案（P7）
 - ・ 駅アクセス道路の計画（P8～P9）
 - 真光寺長津田線から南口駅前広場への路線バスを中心とした道路
 - ・ 主要生活道路 1（P10～P11）
 - 南口と北口、周囲の広域幹線道路を連絡し、生活利便性を確保する道路
 - ・ 主要生活道路 2（P12～P13）
 - 2 号踏切と 1 号踏切をつなぐ、西側エリアの生活の軸となる道路
- 第 19 回検討会における道路計画の検討箇所ごとの意見交換の内容について説明しました。（P14 および第 19 回鶴川駅南口街づくり検討会会議要旨）
- 第 19 回検討会の後に寄せられた意見と、それに対する市の意見を説明しまし

た。(P16)

○第 18 回及び第 19 回検討会を通し、これまで頂いたご意見を再度分析して修正した道路計画の基本的な考え方を説明しました。(P17-P18)

・道路プランの検討図

→河川管理通路活動パターン (P19)

→現道拡幅パターン (P20)

2. 質疑応答・意見交換

○資料説明について質疑応答及び意見交換を行った。

土地利用について

(意見) どの道路プラン(案)にしても、南口駅前広場へのアクセスは川崎市がポイントとなる。具体的な検討が進まないと、道路プラン(案)が絵に描いた餅になりかねない。東側エリアの住民からすると、東側は基本的に立ち退きが前提になる家が多くなるプランになると思うが、街が将来どうなるかではなく、まず自分たちはどうなるのかという話が見えて来ない。

(市の考え) 東側エリアは土地区画整理事業を想定している。皆様の宅地が事業によってどうなるのかなど、具体的な説明も今後用意していきます。

(意見) 北口には居酒屋などが多いので、南口には北口に無いようなお店を作ってはどうか。

(市の考え) 南口に望む機能や店舗などの意見をどんどん言っていただきたい。そういった意見を踏まえて、都市基盤を整備していく。また、どのような土地利用を図りたいかは地権者の方々の考えでもある。

道路プランの考え方について

(意見) 道路プラン(案)は市の立案か。

(市の考え) 市が、検討会の意見を参考にコンサルタントと検討を重ねて提案している。今回は、道路の詳細な幅員や位置などの決定ではなく、道路計画の基本的な考え方についてまとめたいと考えている。

(意見) 道路幅員や西側エリアの川沿い道路の必要性は、住んでいる方の意見を踏まえて対応していただきたい。2号踏切から1号踏切に向けて西側エリアの中央を6m道路にする案も、4mで十分だと思う。鶴川203号線(大正橋から2号踏切まで)を広げるべきではないか。鶴見川沿いの桜並木は残して欲しいが、そういう検討についても、住んでいる方の意見を反映させていただきたい。

(市の考え) 現道を活かしながら、軸となる道路を入れていけば、道路に面する敷地が多くなり、土地の有効活用が図れる。さらに、皆様からの意見も踏まえ計画を検討させていただきたい。しかし、ご意見を全て反映できないところはご了承いただきたい。

1号踏切を通る道路を南北につなぐ軸としたほうが良いのではないかとこの考えを提案させていただいた。どこを広げ、どこに道路

を通すかということは次回以降として、今回は道路の基本的な考えを整理して取りまとめていきたい。

- (意見) 道路を拡幅しても踏切が現状のままでは問題がある。
- (市の考え) 踏切については、道路計画が固まった段階で小田急電鉄と協議を行う予定であり、踏切を拡幅したいという打診はしている。
- (意見) 第 19 回検討会の時に、大正橋から川井田人道橋までの川沿いに道路をつくる案は意味がないと言ったが、その件についてはどうなったのか。
- (市の考え) 検討を重ねた結果、大正橋から川井田人道橋までの川沿いに道路をつくる案より、2号踏切から1号踏切までをつなぐ現道を拡幅した方が土地の有効活用になると考え、今回の案を提示した。
- (意見) 西側エリアの河川管理用通路は「歩道をメインとして」とあるが、どのような考え方か。
- (市の考え) 基本的には現道のままと考えている。例えば、車を通すならば、宅地をセットバックして歩道と道路が分離した形態となる。
- (意見) 主要生活道路 2 は、緊急時、災害時を除けば現状の道路で十分である。緊急時を考えた時に、最低幅員 4m は確保せざるを得ないと思うが、6m になると相互通行になり、交通量も増えてくる。一方通行にすることも 1 つの案ではないか。
- (市の考え) 町田市では宅地開発や区画整理における基本的な道路幅員は 6m としている。今の住環境を守るためにはあまり広い道路はどうかという意見もあるが、駅に近いことや防災上の観点も含めて 6m 以上を提案させていただいている。相互通行か、一方通行かは、今後ご意見をいただきながら検討していく。

バスターミナルについて

- (意見) 小田急の駐車場を利用して北口駅前広場を拡張すれば、北口駅前広場だけで交通処理をまかなえないのか。また、岡上の陸橋の上から直接、北口駅前広場にアクセスする道路を作れば、川崎市側のマンションと交渉するよりも現実的ではないか。
- (市の意見) 北口駅前広場に全ての機能を集約するためには、用地の限界がある。定時性の確保も含め、南口駅前広場へのバスの乗り入れを検討している。また、陸橋から直接アクセスする案については、費用と時間を考えるとハードルが高すぎる。

検討会の進め方について

- (意見) 検討会の通知は全地権者に送付しているのか。
- (市の考え) 基本的には皆様の合意を得て進めていくために、検討会の通知、資料、議事録を、全地権者に送付している。
- (意見) 東側エリアの人達は、移転や補償についてももう少し具体的な話を聞きたいと言っている人が多い。
- (意見) 全体構想だけでなく、今後は東西それぞれテーマを分けて考え、検

討の深度化を図って早く事業に着手してほしい。

(市の考え) できる限り早く進めていきたい。ただ、じっくりと説明しなければいけない部分と、早く決めなければいけない部分があるので、そこは工夫しながら考えていく。2015年度は、西側と東側をしっかりと分けてそれぞれの街づくりの方向性と事業手法等について決めていきたい。

(市の考え) 次回の検討会では、移転や補償に関する資料などを用意する。

3. 次回の検討会について

○次回の検討会は12月20日の土曜日を予定している。時間は午前10時から、場所は同じ3階の会議室を予定している。

以上